

鎌ケ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	142市民生活を支える地域情報化の推進		
施策のねらい(めざす姿)	市民が情報通信システムを活用し、必要な情報を入手したり、時間や距離に制限されない交流をしています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	総務企画部次長
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	マネージャー氏名	葛山 順一

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	より読みやすく親しみの持てる広報紙づくり、ホームページリニューアル事業の実施に向けた具体的な検討。	③改革・改善内容	広報紙の世帯配布率を向上させるため、新聞未購読世帯への個別ポスティングを様々な手法で周知するとともに、シルバー人材センターによる全戸配布の実現可能性について検討する。
②①に基づく取り組み結果	広報紙は紙面の一部変更を行い、文字中心から写真・イラストを効果的に活用したビジュアル面(視覚的要素)にも配慮し、文章を横書きに統一することで、より読みやすい紙面とした。市ホームページは、30年6月にCMSを導入した全面リニューアルを行った。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	広報紙:市内全世帯 市ホームページ等:市民	意図(対象をどうするのか)	広報紙・市ホームページ等の特性を活かし、子どもから高齢者まで、多くの市民に行政情報などを提供する。
②施策の概要	市の施策や行事、市民の自主的活動などの市民生活に必要な情報を広く知らせるとともに、市政への理解と協力を得るため、広報紙を発行する。また、行政手続きや緊急性のある行政情報、鎌ケ谷の魅力在市ホームページ等で随時提供する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	情報の発信や収集にスマートフォンを含めたSNS利用の比重が高くなってきている。 広報紙:昭和32年5月発行。市ホームページ:平成10年9月開始(30年6月全面更新)。 ツイッター:平成23年4月開始。フェイスブック:平成26年2月開始。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29～30年度の施策の成果	広報かまがやを年24回(毎月1・15号)発行した。主に新聞折込により各世帯に配布し、新聞未購読世帯の希望者には個別にポスティングを行った。公共施設や駅などに配置するとともに、市ホームページやスマートフォン用アプリ「マチイロ」に掲載した。市ホームページは平成30年6月にCMSを導入した全面リニューアルを行った。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(2年度)
	i	市ホームページ年間アクセス数	件	350,224	552,781	747,151	420,000
	ii						
	iii						
③基本事業成果指標	i	まなびい大学などのICT関係講座の開催数	講座	33	32	16	11
	ii	市ホームページ年間アクセス数	件	350,224	552,781	747,151	420,000
	iii	公共施設予約システムアクセス件数※	件	120,997	209,970	238,814	56,000
	iv	電子メール受信数	件	191,940	136,968	131,808	120,000
	v						
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費		平成29年度決算	平成30年度決算	市民一人あたり事業費(30年度決算)		令和元年度予算	
事業費(千円)		0	30,249	(単位:円)		277円	0

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	広報紙:より多くの市民が閲読できる環境整備(配布・配置等)の検討 市ホームページ等:多様な行政情報の提供とウェブアクセシビリティの維持・向上		
②総合評価	1達成	③総合評価の理由	広報紙面の一部変更を行うことで、読みやすい紙面づくりに努め、市ホームページの全面リニューアルも完了することで、市政情報を広く知らせるとともに、市政への理解と協力を求めることができた。また、緊急情報等の提供体制を構築できた。

V 今後の方向性

①施策の方向性	↑ 拡充
②上記方向性の説明	市政情報を広く周知することで、市民の市政に対する理解及び協力を得る必要があるため。
③特に重点化する事務事業	該当事務事業なし